



## 中国の社会改革と民主化 (中国が世界のリーダーとなる日)

(3月のごあいさつ)

平成30年3月1日(木)

冷戦が終わった20世紀の末、ソ連、東欧、中国などいくつかの社会主義の国家は、ほとんどが崩壊した。ところが、中国だけは改革開放を経て、「社会主義」、「市場経済」という形で存続し、発展している。

しかし、「社会主義」、「市場経済」という中で認められた私有財産と富は、権力と結びついた私的なものであり、社会主義という思想からは矛盾以外の何物でもない。放置すると、**腐敗の蔓延**となり、腐敗を防げなければ社会や国民の不満は潜在的、顕在的に水面下で拡大して、いつかは**爆発し、分裂する**。

反腐敗キャンペーンの結果、党中央の政治局委員で重慶市のトップであった薄熙来氏が2012年に、胡錦濤政権で政治局常務委員を務めた大物政治家の周永康氏は、収賄罪と横領罪による不正蓄財で2014年に訴追された。

社会主義市場経済の中のつじつまの合わない私有財産と富、**権力≠私有財産**から生ずる**腐敗という構造的な問題**を取り除く方法は、**中国の民主化**しかない。

**経済の発展**は、後進国であった状態から、**先ず、独裁的な支配体制**で強力に産業の発展を図り、**経済成長を進める**。その**開発独裁が成功**すると**民主化が進み独裁的なやり方をやめる**ことになる。

その過程を遅らせるには、常に国民を満足させる**新しい数々の方法の創出と実現**が必要である。例えば、(1)絶え間のない腐敗問題の解決、(2)経済成長の継続と国民の生活の改善、(3)新しい思想(一带一路)の成功、(4)台湾の中国復帰と中国の統一、(5)裁判所、司法の独立などである。

それは、**民主化までの現国家主席の任期**が期限であり、現在の10年の任期では足りないとしても、せいぜい15年程度とすべきである。**任期を撤廃するのは暴挙**であり**矛盾が顕在化する**。

2014年11月、中国で開催されたアジア太平洋経済協力首脳会議で、習近平総書記は、中国西部から中央アジアを經由してヨーロッパへつながる「シルクロード経済ベルト」(一帶)と、中国沿岸部から東南アジア、アラビア半島、アフリカ東岸を結ぶ「21世紀海上シルクロード」(一路)の二つの地域を中心に世界経済圏構想を提唱した。そして、その諸政策を実行しつつある。

他国の内政に干渉せず、体制モデルを押し付けないこの戦略は、アメリカによる**軍事的リーダーシップ**とは一味違う、世界の経済的繁栄を主眼とした考え方であり一目に価する。しかし、この理念を実現し、**世界のリーダー**となるためには**足許の社会改革**をスムーズに進め、**中国が民主化**されなければならない。